

1. 科目名 (単位数)	情報と職業 (2単位)	3. 科目番号	EDIT1302
2. 授業担当教員	清水 文也		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	コンピュータやインターネットの利用は、現代の生活において必要不可欠である。それは、日常生活のみならず、ビジネス環境にも大きな変化をもたらしている。情報に関する学習において、コンピュータやネットワークの仕組みや操作を理解することも重要であるが、それらが社会やビジネスでどのように使われているのかを理解することも重要である。本講義では、情報化により、私たちの生活がどう変わったのか、また、どのようにビジネスに活用されているのかを、事例を通して考えていく。		
8. 学習目標	コンピュータやインターネットを活用することで、どんなビジネスが可能になったのかを理解して、情報社会で生きるための知識と考え方を身につけることが本講義の目標である。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート 課題	毎回の確認テストと新サービスの考案、また、期限までにレポート課題を提出する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教材】 必要に応じて適時資料を配布する。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業で扱う情報と職業に関する内容について理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章で、自分の考えを述べられるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加、受講態度 30% 2. 授業ごとに課されるレポートや課題 70%		
12. 受講生への メッセージ	本科目は選択科目ですが、情報科教員免許状取得のための必修科目でもあります。各産業分野の新技术についての今後の可能性と課題及び、新たな職業の誕生について深く考察して学んでいく科目となります。毎回、指定座席にて、テーマについて確認テストや教材資料を読み、受講生とディスカッションを行いますので、積極的な参加が求められます。最後には、レポート課題もありますので、情報に限らず教員志望の学生には推奨しますが、単なる興味本位や本科目を一度落としている学生、また、空きコマを埋めるためや単位取得だけが目当てだったり、GPAを上げるためだけの理由で受講する学生にとっては、厳しいカリキュラムになっていますので、十分検討して選択してください。 ※学生本人が“選択”する科目ですので、参加態度などが悪い場合は大幅な減点となります。 ※受講者数に応じて、講義内容や順番を調整・変更する場合があります。		
13. オフィスアワー	初回時に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	情報科教員と大学入試科目「情報」 ・授業ガイダンス (概要と成績評価について) ・情報科教員採用の現状と大学入試科目「情報」	事前学習	情報科教員採用について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第2回	ICT人材の未来と職業 ・「未来投資戦略 (Society5.0)」について ・サイバー自衛官&サイバー捜査官という職業	事前学習	情報サービス産業について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第3回	AI (人工知能) 産業(1) ・人工知能とは何か (強いAI と弱いAI とは) ・AI 先進企業の軍事利用の可能性について	事前学習	人工知能について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第4回	AI (人工知能) 産業(2) ・AI (人工知能) に対する様々な「誤解」 ・フレーム問題とブラックボックス問題	事前学習	人工知能について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第5回	Ioxの今後の可能性と職業 ・IoT (モノのインターネット) とは ・人体埋め込みチップと最先端ウェアラブル	事前学習	IoTについて調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第6回	xRの今後の可能性と職業 ・「VR, AR, MR, SR」それぞれの技術について ・様々な最新仮想、拡張サービス	事前学習	仮想現実について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第7回	自動運転及び遠隔操作技術と職業 ・自動運転技術 (レベル) とは何か ・先進企業動向と次世代交通「MaaS」について	事前学習	自動運転について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第8回	ロボット産業の今後と職業 ・最先端ロボットとアンドロイド ・仮想的労働者 (RPA) とは	事前学習	ロボットについて調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第9回	AI サービスと職業の考案 ・人工知能×様々なテクノロジー=新たな価値 ・新たな価値とそれに伴う職業 (仕事) とは	事前学習	人工知能関連サービスについて調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく

第10回	AI サービスと職業の発表 ・受講生による新サービスの発表 ・人工知能と人間の「協働」が始まる	事前学習	発表リハーサルを実施しておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第11回	次世代型オンライン学習の進展 ・VTuber と VOICEROID による学習教材の可能性 ・人工知能×教育分野 (AI 先生の誕生)	事前学習	オンライン学習について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第12回	ブロックチェーン技術の今後と職業 ・フィンテックと暗号資産 (仮想通貨) とは ・日本版「情報銀行」とは何か	事前学習	ブロックチェーンについて調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第13回	教員としてのプログラミング教育 ・小学校プログラミング教育の最新動向 ・高校「情報I」プログラミング教育	事前学習	プログラミング教育について調べておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第14回	理解度確認テスト ・第1回～第13回の振り返り確認テスト ・基本的な概念の理解と趨勢を読み解く	事前学習	これまでの理解度確認テストを復習しておく
		事後学習	テーマについてさらに考察を深めておく
第15回	レポート課題 ・情報技術を活用する社会及び職業について ・レポート課題の解説とテーマの選定	事前学習	これまでのテーマを復習しておく
		事後学習	期限までにレポート完成させ提出すること